GROHE
Shower

Pure Freude an Wasser

シャワーパイプ取扱説明書 （お客様用）

据付業者さまへのお願い　**この取扱説明書を、お客様にお渡しください。**

- □ このたびは、GROHE 製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。
- □ この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- □ この取扱説明書をお読みになりました後もすぐに取り出せる場所に大切に保管してください。
- □ この取扱説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
- □ 不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- □ 転居される場合、次に入居される方にこの説明書と付属の保証書をお渡しください。

もくじ

安全上のご注意 ……… 1
各部の名称 ……… 2
ご使用前に ……… 3
ご使用方法 ……… 3
ご使用上の注意 ……… 4
寒冷地にて使用する場合 ……… 4
お手入れの方法 ……… 4
定期的な点検 ……… 5
故障かな？と思ったら（修理を依頼される前に） ……… 6
定期的な部品交換 ……… 7
アフターサービスについて ……… 7
新しく購入して交換してください ……… 7

安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
この説明書では、機器を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表　示	意　　味
⚠注意	この指示を無視して、誤った取扱をすると、障害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。
また下に示す記号は説明書や製品に表示してお客様に安全に正しく製品をお使いいただくようにしたものです。内容をよく理解して正しくお使いください。

この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

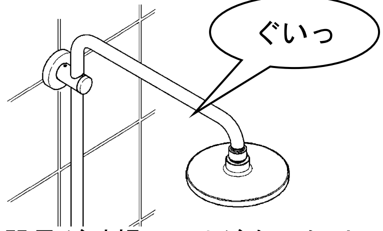
この絵表示は、「接触禁止」の内容です。

この絵表示は、「分解禁止」の内容です。

⚠注意

禁 止

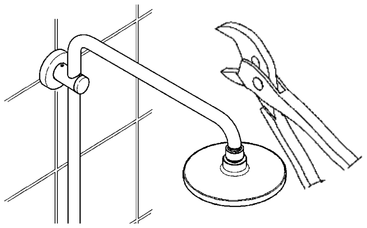
器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。



器具が破損し、けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

分解禁止

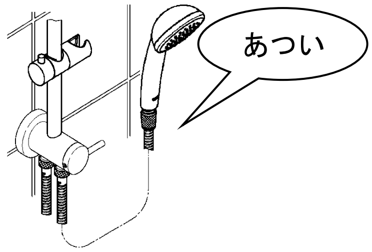
分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。



器具が破損し、やけど、けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

接触禁止

高温の湯をお使いのときにはホースは高温になっています。直接肌を触れないでください。



やけどするおそれがあります。

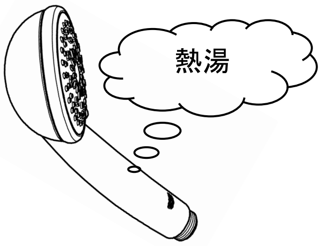
禁 止

シャワーヘッドの取扱いには充分ご注意ください。

落としたり、ぶつけたりすると破損の原因になります。

禁 止

シャワーヘッドは熱湯（６０℃以上）を通さないでください。



破損、変形、変色の原因になります。

禁 止

他所との同時使用により圧力変動が起こり、お湯の使用中に湯温が急上昇する事があります。

やけどするおそれがあります。

禁 止

商品の改造・仕様変更は絶対にしないでください。

事故の原因となります。

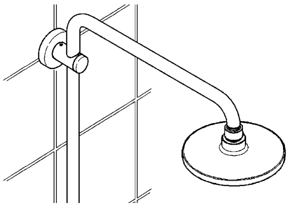
禁 止

２ハンドル・シングルレバー混合栓とセットで使用される場合、給湯機の給湯温度は、４２℃より高温で使用しないでください。

やけどするおそれがあります。

禁 止

アームの首振り操作はできません。乱暴に扱うとゆるみを起こすことがありますので、首振り操作はしないでください。



けがをするおそれがあります。

禁 止

マッサージ吐水は顔への使用はしないでください。

直接目や耳などにあたるとケガをするおそれがあります。

凍結が予想される場所でご使用になる場合は、凍結予防を確実に実施してください。

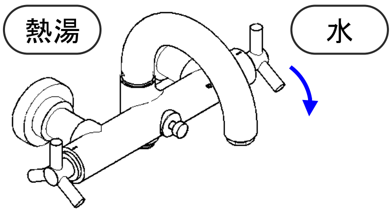
部品が破損し、水漏れし家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

ストレーナの清掃をする際は、水栓本体の開閉ハンドルを閉めてから行ってください。

湯水が噴き出て、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

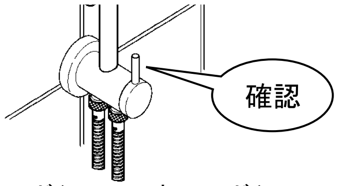
⚠注意

高温の湯をお使いの後は、器具内に高温の湯が残らないように、しばらく水を流してください。



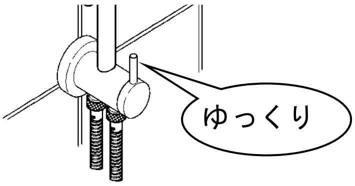
次に使用する時、器具内に滞留した高温の湯が出て、やけどするおそれがあります。

お使いになる前に、ヘッドシャワー側かハンドシャワー側かを切換弁で確認してから湯をお使いください。



ヘッドシャワーとハンドシャワーを間違うとやけどするおそれがあります。

切換ハンドル操作の急停止は、配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。

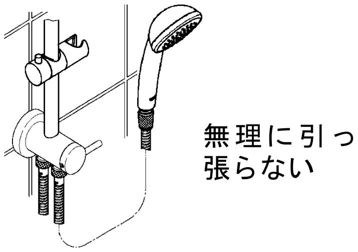


漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温かどうか確かめてください。

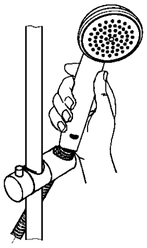
高温の湯が出てやけどするおそれがあります。

ホースを乱暴に扱うと破損や事故を起こすことがありますので、余裕を持たせてお使いください。



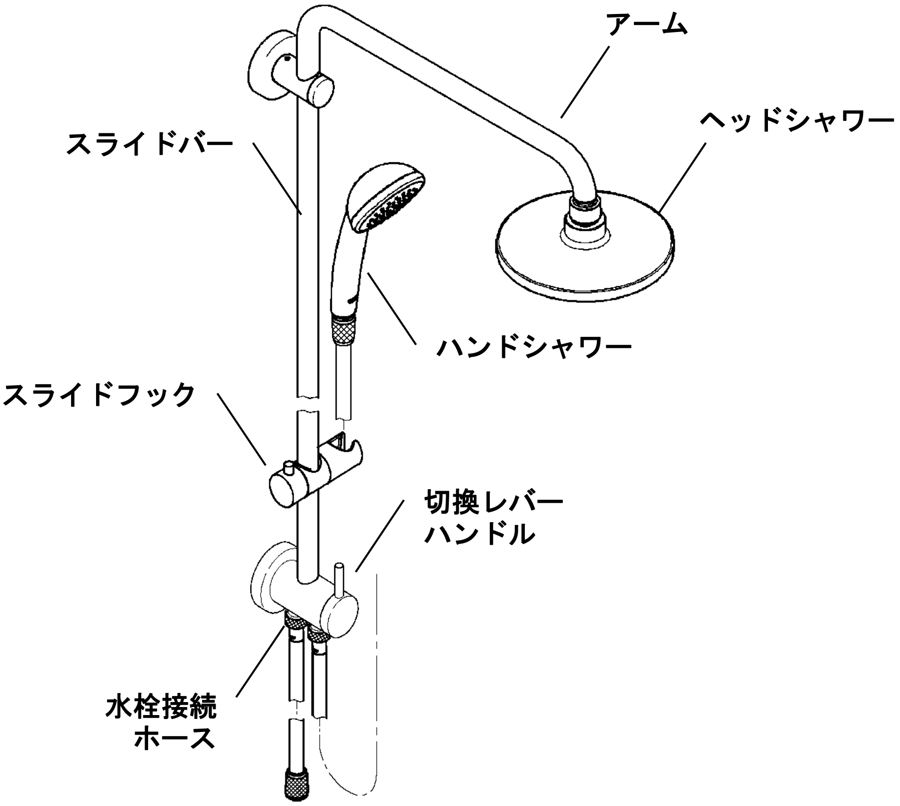
破損・事故で家財などを破損し財産損害発生のおそれがあります。

給水圧が高い地域でご使用の時は、確実に手などで支持してご使用ください。



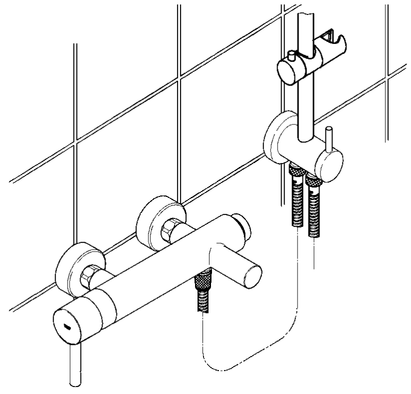
ハンドシャワーが暴れたり、フックから落下してケガをするおそれがあります。

各部の名称



ご使用前に

●当製品のみだけでの使用は出来ませんので、必ず別途水栓の取扱説明書もお読み下さい。
※図はシングルレバー混合水栓ですが、その他の水栓についても同様です。



ご使用方法

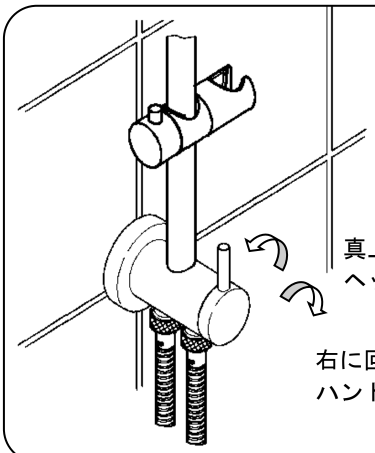
1．切換レバーハンドル

●シャワー切換
ヘッド、ハンドシャワーの２方切換弁になります。

● 真上で → ヘッドシャワー側

● 右に回して → ハンドシャワー側

※約９０°で切り替わります。

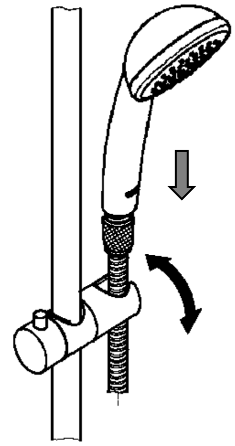


2．スライドフック

●角度調整
ハンドシャワーのグリップ部を持って、回転させることにより任意に角度を変えられます。

● シャワーを差し込んで → 任意に回してください

※シャワーを差し込む時、回す時は無理な力は加えないでください。

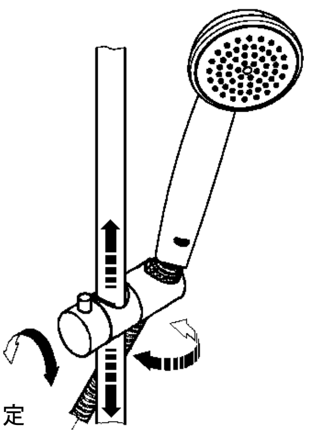


●上下移動、左右の回転
スライドフックのハンドルをゆるめて、上下・左右に操作が可能です。

● ハンドルを左に回して → 上下・左右に動きます

● ハンドルを右に回して → 固定となります

●
※ハンドルの小さいレバーは、固定位置を示すものではありません。ネジになっておりますのでハンドルを固定した際は、手前に向いたり、後方になる場合もあります。



⚠注意　ご使用上の注意

●ガス給湯器と合わせてご使用の場合

◎比例制御式の給湯器の設定は、温度調節を高温（使用温度＋１０℃）にしてください。

◎能力切替付きの給湯器では、能力を季節に合わせてご使用ください。

※吐水量を絞って使用すると給湯器が着火しない場合があります。

◎給水圧力が低いときや水温が高いときは、給湯器が着火しない場合があります。
このときは、給湯器の設定温度(能力切替は能力)を少し上げてお試しください。

●レバー（ハンドル）の操作

◎レバー（ハンドル）操作は、急激な回転は行わないでください。

※急激な操作をすると水栓または、配管部で音がでたり、吐水温度が急激に変わります。

◎シャワーを使用する際は、必ず手で適温かどうか確かめてください。

※熱湯が吐出して熱湯でやけどする恐れがあります。

●アームの使用禁止

◎アーム部分に物を掛けるなど、荷重を加えないでください。
また、回転させないでください。

※けがをしたり、破損・事故で家財などを破損し財産損害発生のおそれがあります。

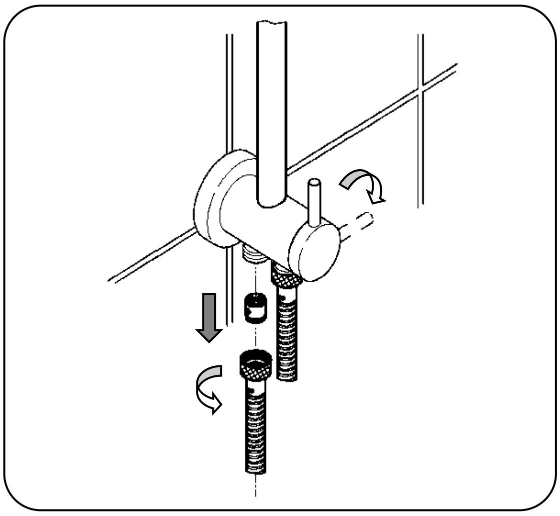
寒冷地にて使用する場合

凍結が予想される場合は、器具の水抜きをしてください。

１．逆止弁の取り外し

①ホースの袋ナットを手もしくはプライヤー等で左回しに取り外してください。
②ホルダー内部の逆止弁を取り外してください。
③切換レバーを右に回して、ハンドシャワー側の水を抜いてください。

※水抜き操作後は必ず元に戻してください。
※ホース内の水を排水に流し、シャワー内部の水をできるだけ抜いてください。
※冬期、器具内部の水が凍結すると、部品が破損する可能性がありますので必ず水抜きを実行してください。

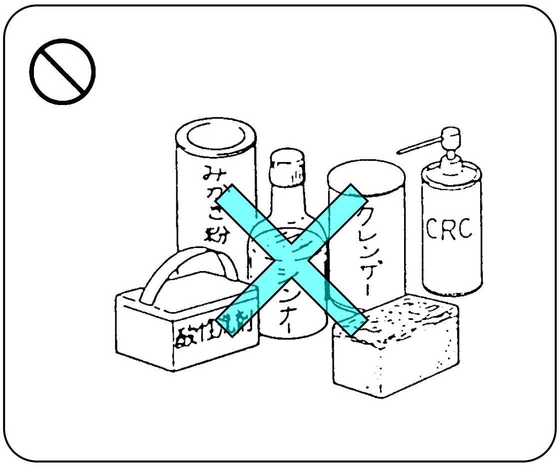


お手入れの方法

◆汚れた場合は

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことを注意してください。

- 表面が汚れたら、柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、適当に薄めた中性洗剤をふくませた布で、ふきとってください。そのあと水でぬらした柔らかい布をよく絞って、洗剤をふきとり、最後に柔らかい布でからぶきしてください。
- お手入れの際は、クレンザー・みがき粉や粗い粒子を含む洗剤・塩素系洗剤・シンナー・ベンジン及びナイロンタワシなどは、器具の表面を傷つけたり、侵したりしますので使用しないでください。
- 壁面のタイル等をカビ取り剤で洗浄した場合は、タイル及び水栓を十分に洗い流してください。

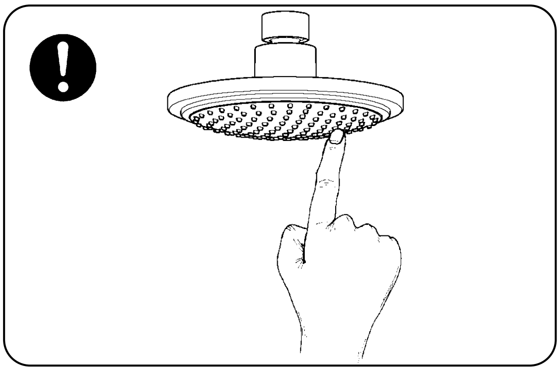


お手入れの方法

◆散水穴の清掃

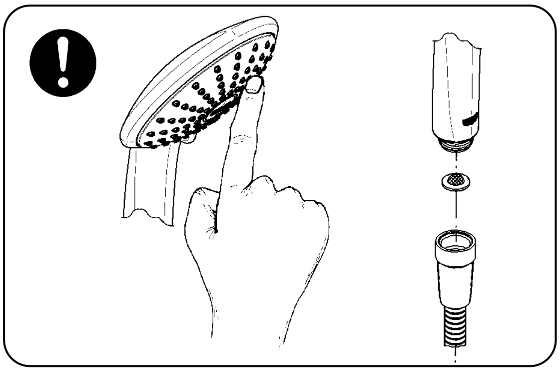
シャワー散水穴のゴミ詰りは機能を低下させます。ときどき次の要領で清掃してください。
- ● 散水穴（灰色のゴム状突起）を指で軽く撫でる

※新品時にはグリス等が付着している事があります。必ず１度は撫でてください。



◆ストレーナの清掃

ストレーナのゴミ詰りは機能を低下させます。流量が少ないと感じましたら、以下の方法で清掃してください。
① 水栓金具を操作して止水状態にしてください。
② ハンドシャワーのユニオンを手でゆるめてください。
③ ハンドシャワーよりストレーナを取り外してください。
④ ストレーナのゴミを取り除いてください。
※作業前は止水栓を閉めて、開けるときには必ず組み立てを完了しておいてください。



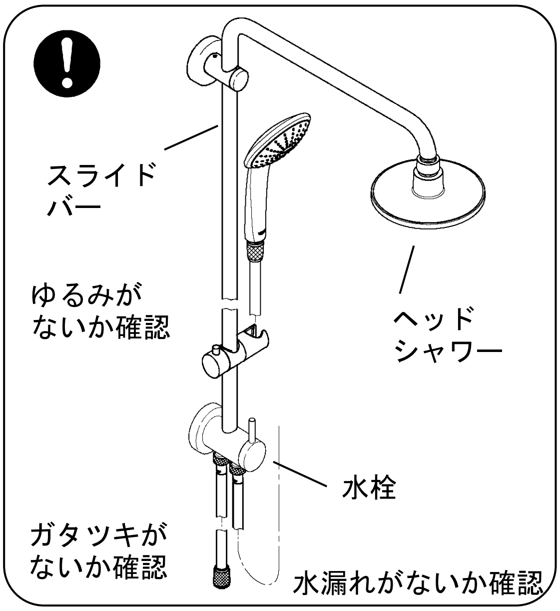
⚠注意 定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検をおこなってください。

●配管まわりの水漏れ（１ヶ月に１回程度）
◎配管まわりの水漏れがないか確認してください。
部品の劣化・磨耗などによって生じる漏水で、家財などを濡らす財産損害発生を未然に防止するために、配管まわりの点検をおこなってください。

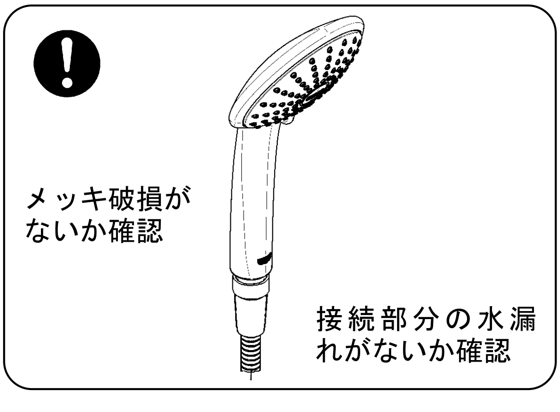
●水栓のガタツキ（１ヶ月に１回程度）
◎水栓のガタツキがないか確認してください。
ガタついたままお使いになると、配管に負担がかかり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

●スライドバー、ヘッドシャワーのゆるみ（1ヶ月に1回程度）
◎スライドバー、ヘッドシャワーのゆるみがないか確認してください。
ゆるんだままお使いになると、水漏れの原因になり、ケガをするおそれがあります。



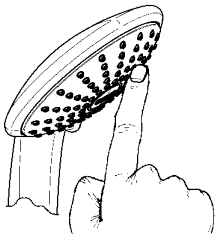
●メッキ部分の破損（１ヶ月に１回程度）
◎メッキ部分の破損がないか確認してください。
劣化・磨耗などによって生じるめっき表面の割れで、ケガをするおそれがあります。

●接続部分の水漏れ（１ヶ月に１回程度）
◎接続部分の水漏れがないか確認してください。
劣化・磨耗などによって生じる漏水で、高温使用時に湯が出てやけどをすることがあります。



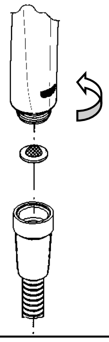
故障かな？と思ったら　（修理を依頼される前に）

シャワーの散水状態が悪くなった



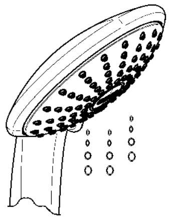
散水穴（ゴム状突起）を指で軽く撫でる

シャワーの流量が減少した



ストレーナを取り外し、水洗いする

水栓の閉栓後、シャワーヘッドから落水がある



３０秒前後であれば、シャワーヘッドの内部構造によるもので、故障ではありません。

このようなとき	よくある例	ここをお調べください
● 吐水量が少ない（少なくなってきた）	①配管内のゴミがシャワー散水穴、ストレーナにたまってきた。 ②給湯器の温度設定が不適切である。	（１）シャワー散水穴、ストレーナにゴミ詰りがないか確認してください。 ※ 「散水穴の清掃」「ストレーナの清掃」をご参照ください。 （２）ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切替付のものは、適正能力にセットされていることを確かめてください。
● 適温の温度調節がスムーズに出来ない	③配管内のゴミがストレーナにたまってきた。 ④給湯器から十分なお湯がきていない。 ⑤水または、湯のいずれかの圧力（勢い）が強過ぎる。	（１）上記同様、ストレーナにゴミ詰りがないか確認してください。 （２）給湯器から十分なお湯がきていることを確認してください。※ご使用温度＋１０℃以上にしてください。 （３）湯側・水側とも吐水量が同等であることを確認してください。 ※以下の方法で調整してください。 1. 湯側いっぱいの位置に合わせて吐出し、湯側の止水栓で適量に調整します。 2. 水側いっぱいの位置に合わせて吐出し、湯側いっぱいの位置の吐水量と同じか、または1.5倍位になるように、水側の止水栓を調整します。
● 水の量が多すぎて使いずらい ● 使用時に高い音がする	⑥水の圧力（勢い）が強過ぎる。	上記と同様の方法で止水栓を締め込んで水または湯の量を適量に調整してください。
● シャワーヘッドから止水後水滴が若干滴下する	⑦シャワーヘッドの構造上発生することなので故障ではありません。	気になるようでしたらシャワーヘッドを振って、よく水を切ってからシャワーフックに納めてください。
● 散水が頭に当たらない	⑧アームの調整が適切でない。	据付説明書の「アームの位置調整、固定」をご参照ください。
● スライドバー自体がぐらつく	⑨取付ビス、固定ビスがゆるんでいる。	販売店、取付工事店に連絡してスライドバーをきちんと施工してもらう。
● フックを可変するとギイギイ音がする	⑩構造上発生するおそれがあります	グリスもしくはリンス等で滑りを良くする。
● ヘッド、ハンドの切り換えが完全にできない	⑪内部切換弁にゴミが付着または破損している	販売店、取付工事店に連絡して切換弁を洗浄、または交換する。

※上記処置で故障が直らない場合は、販売店、取付工事店または当社サービス課へご相談ください。

※上記処置以上の分解、修理、改造は行わないでください。ケガをしたり、故障、破損の恐れがあります。

定期的な部品交換（部品は水栓の種類によって異なります）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

使用年数

▲取付日

お客様による日常のお手入れ・点検

消耗部品の交換（パッキン等）

磨耗劣化部品の交換

買い替えご検討

部品の交換

部品が磨耗・劣化すると水漏れの原因になりますので、交換が必要です。
磨耗・劣化部品（水栓の種類によって異なります）
例）ヘッドパーツ、口金（整流器・エアレーター）
部品の交換については取扱店・販売店またはグローエサービスセンターにお問い合せください。

補修用部品の供給期間	この製品の補修用部品（機能維持に不可欠な部品）の供給期間は製造中止後１０年です。 なお、補修部品のご購入については取扱店・販売店またはグローエサービスセンターにお問い合わせください。

アフターサービスについて

◆修理を依頼されるとき

お求めの取扱店、またはサービスセンター（リクシルトータルサービス内）に修理を依頼してください。
＜保証期間中は＞
- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

＜保証期間が過ぎているときは＞
- 修理により使用可能な商品については、希望により有料にて修理させていただきます。

＜修理料金は＞
- “技術料”＋“出張料”＋“部品代”で構成されています。

＜連絡していただきたい内容＞
１．ご住所、ご氏名、電話番号　２．商品名　３．品番（取扱説明書に表示）
４．ご購入日　５．故障内容、異常の状況　６．訪問日

◆修理の依頼・お問い合わせは

グローエサービスセンター
０５７０－６６６－３６８

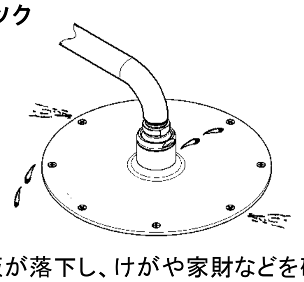
受付時間　平日 9：30～17：30（受付・お問い合わせ）
平日夜間・土・日・祝日 24 時間（受付のみ）

新しく購入して交換してください

本品は、消耗部品、磨耗・劣化部品を交換していただいてご使用したとしましても、使用 10～12 年を目安に交換するおそれがあります。
交換については取扱店、または弊社サービス課にお問い合せください。

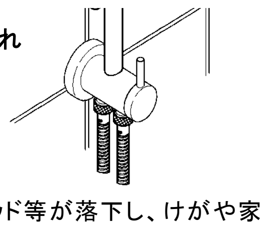
※右記のような症状があれば、劣化による内部部材の磨耗が考えられます。
※ご自身で新しく購入して交換するか。取扱店、または当社サービス課へ交換のご依頼をしてください。

水が漏れる
グラツク



散水板が落下し、けがや家財などを破壊し財産損害発生のおそれがあります

グラツク
メッキ剥がれ



シャワーヘッド等が落下し、けがや家財などを破壊し財産損害発生のおそれがあります。
めっき表面の割れで、ケガをするおそれがあります。

グローエジャパン株式会社

〒107-0062　東京都港区南青山 6-12-1 TTS 南青山 1F
TEL 03-6748-1180　FAX 03-6748-1181
〒541-0057　大阪市中央区北久宝寺町４－３－５　本町サミットビル３階
TEL 06-4708-6340　FAX 06-4708-6485
GROHEJAPAN ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　https://www.grohe.co.jp/